

水雷のお話

海軍で軍艦を攻撃するには、先づ大砲と水雷とですが、其中でも殊に水雷の力の恐ろしいことは、彼の日清戦役に、威海衛の敵艦をうち破つた事や又今回の戦争でも、レトウキザンの横腹に、大きな穴を明けてやつたり、旗艦ベトロボヴロヴスク號を、司令官マカロフ中將をのせた儘、八百人の士官水兵と共に、瞬く間に撃沈したので分ります、そこで、今度は、簡単に水雷のお話をして見る事に致しまししょう。

水雷の種類

には二つあります。一は攻撃水雷といひまして、一は防禦水雷といひます。何れも、種々な装置の中に火薬を詰め込んで、其爆發力で敵の軍艦を轟沈させるのです。一體、ベトロボヴロヴスクの様な、一万余千噸といふ様な戦闘

艦になりますと、中々大砲の丸の五發や六發當つたからといつて、言はゞ象の身體を蜂が刺した様に、平氣なもんですすから、どうしても此水雷で以て、粉微塵に粉碎して仕舞はねばなりません。然し、ベトロボヴロヴスク號の轟沈されたのは、全く我軍の敷設した、

機械水雷

にかゝつたのでありまして、この機械水雷は、どつちかといふと、防禦水雷に屬するのですが、今度の様に、此方から行つて敵の場所へ敷設する様にしますと攻撃水雷といつてもよろしいでしょう。これにも、いろいろ種類がありまして、一は海底に沈めて置いて、敵艦が其處を通過する時、之に電氣をかけて爆發させるので、今一は觸發水雷といつて、敷設した水雷に軍艦が觸接すると忽ち爆發する仕掛けになつて居ます。

さて、以前は、水雷といふと、この様に一定つた場所へ据へ付けける機械水雷許りで在つたのです。が、今から凡そ四十年程前に、奥國のハワイへツドといふ人が始めて、

攻撃水雷

即ち此方から進んで行つて敵艦に當つて爆發する魚形水雷を發明しましたが、之を一番早く海軍に應用したのは英國で、夫から、だん／＼改良に改良を加へられて來ましたが、今日ではこの魚形水雷の速力といつたら、すばらしい早いもので、僅か一分間に大凡そ八町から九町も走つて行くとして、甘く敵艦に命中すると、鐵であらうが、木であらうが、上下四方に三十呎からの大穴をうち明けるのですから、どんな大きな軍艦だつて、とても之には閉口せざるを得ないので、日本では、此水雷攻撃で、日清戦争にも、今

度の戦争にも、世界の耳目を轟かす程の大勝を得ましたが、實際、之からの海戦は

水雷艇

の襲撃が第一番だと申すことは、露西亞の敗將マカロフなどの常に曰つて居たといふ事です。この水雷艇は、なるべく見付からぬ様にして、敵艦に近づいて行つて、水雷を發射するに都合のよい距離、凡そ、八百碼から千碼の所まで進んだ時に之を發射するのである。大きさは大抵、小さいので二十噸以下、大きいので百二十噸或は夫以上位のものであります。ですから、水雷艇の攻撃は、彼の威海衛陥落の時や、今度の第一回旅順攻撃の時の様に、暗夜とか、霧の深い時とか、又は大砲の煙で濛々として居る時が最も妙なのです。苦し敵に見付かりでもすると、全體小さな艇ですから、一撃の大砲で打ち沈められて仕舞ひま

す。そこで、戦争中此の水雷艇を驅逐して、味方の艦隊を守護するものは

水雷驅逐艦

といつて、通例、二百五十噸から三百五十噸位の軍艦です。水雷艇を驅逐して撃沈しようとするのですから、速力も水雷艇以上で三十六哩も走ります。

水雷母艦

といふは、水雷艇は小さくていろいろの軍需品、石炭とか飲食物とかを積み込むことか出来ない所から、水雷艇に之等を供給する爲めに運送の用をなす船をいふのであります。

小學校の茶話會

毎年、附屬小學校では、卒業式が済んだ後で、一部、二部、三部の卒業生と、先生方が集つて、二階の講堂で茶話會を開くことになつて居ます。

今年も、三月廿八日の午前九時に卒業式が行はれましたから、其お晝から、茶話會を開きました。卒業の男女生から、いろいろ面白くお話が出ました、覺えて居るだけ、三つ四つ記さ出して御覽に入れましょう。

まづ、こんなお話です、

田舎者と足袋屋

田舎者が、東京の足袋屋へ来て、足袋を注文しました。足袋屋の主人が「十文ですか、十一文ですか」と尋ねましたら「イー、田舎もんです」と答へました。

田舎者と汁粉

田舎者が、お汁粉屋へ飛び込んで「オイ、汁粉を下さい」といひましたから、汁粉屋の女が、「ハイ、御膳にしましよつか」と聞きましたら、「イーヤ、